

特殊記号の入力

文書作成の際に、特殊記号の入力が必要になる場合があります。ここでは、発音記号をWordで入力することを例に、手順と方法を示します。入力の方法は、他の言語の特殊な文字でも同様です。適切なフォントを導入、選択して円滑な文書作成に役立ててください。

必要なフォントの確認とインストール

発音記号は、IPA SILから公開されている"Charis SIL"フォントを使いましょう。このフォントは通常インストールされていませんので、自力でインストールする必要があります。

フォントがインストールされているか確認する簡単な方法は、Wordなどの文書作成ソフトでフォントのリストをみることです。このリストの中に、上記の名称があればインストールされています。なければ、インストールしましょう。

ただし、事前に注意することがあります。ネット上で公開されてリルからと行っても、このフォントにはOFL (Open Font License)というライセンスが適用されています。このライセンスによって、どのような条件を満たせばどのような使用ができるか示されています。十分に気をつけて利用してください。

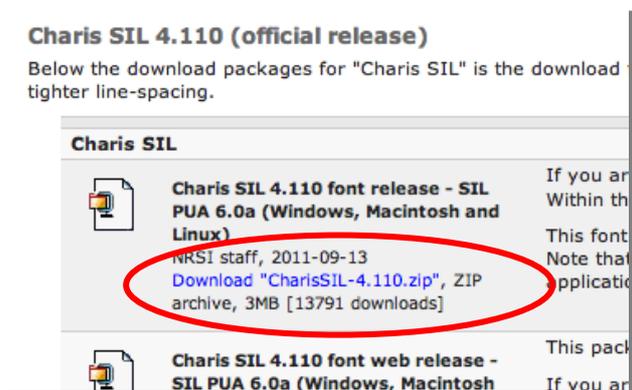
フォントのダウンロード

<http://www.sil.org/> をブラウザで開き、左のリストから「What we provide」→「Fonts and Writing Systems」→「SIL Fonts」を選択してください。



フォントのリストから、「Charis SIL Font」を選択してください。「Chris SIL

Font download」をクリックしてください。ダウンロードページからフォント(zipアーカイブ)をダウンロードして、ファイルを展開してください。



Windows の場合

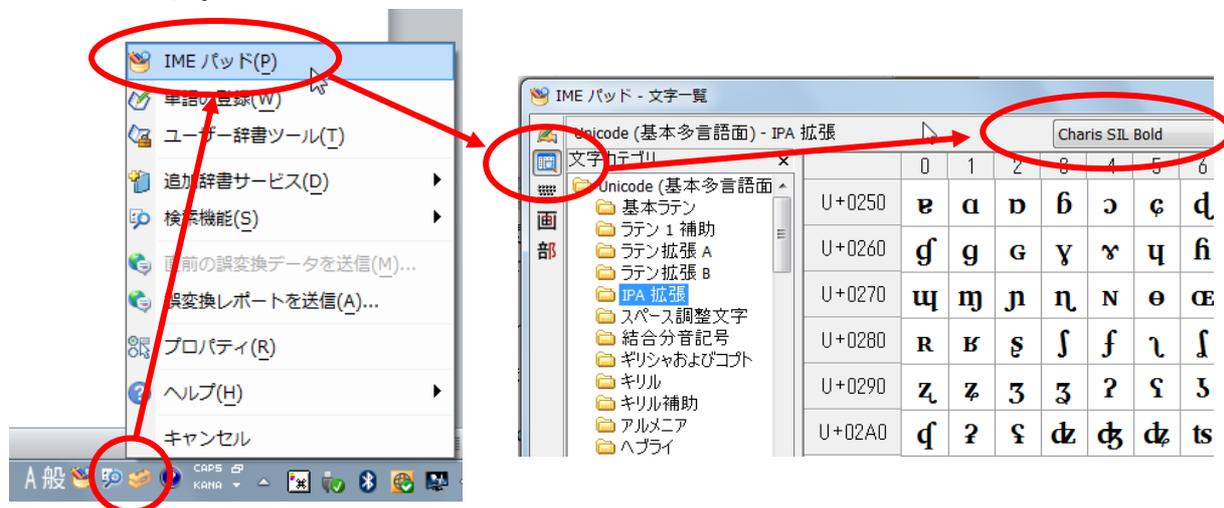
展開されたファイルの中で、「CharisSIL.ttf」、「CharisSIL-B.ttf」「CharisSIL-I.ttf」「CharisSIL-BI.ttf」の四つをそれぞれダブルクリックします。フォントの例が表示されますので、「インストール」ボタンを押してください。これで、インストールは終了です。

Mac の場合

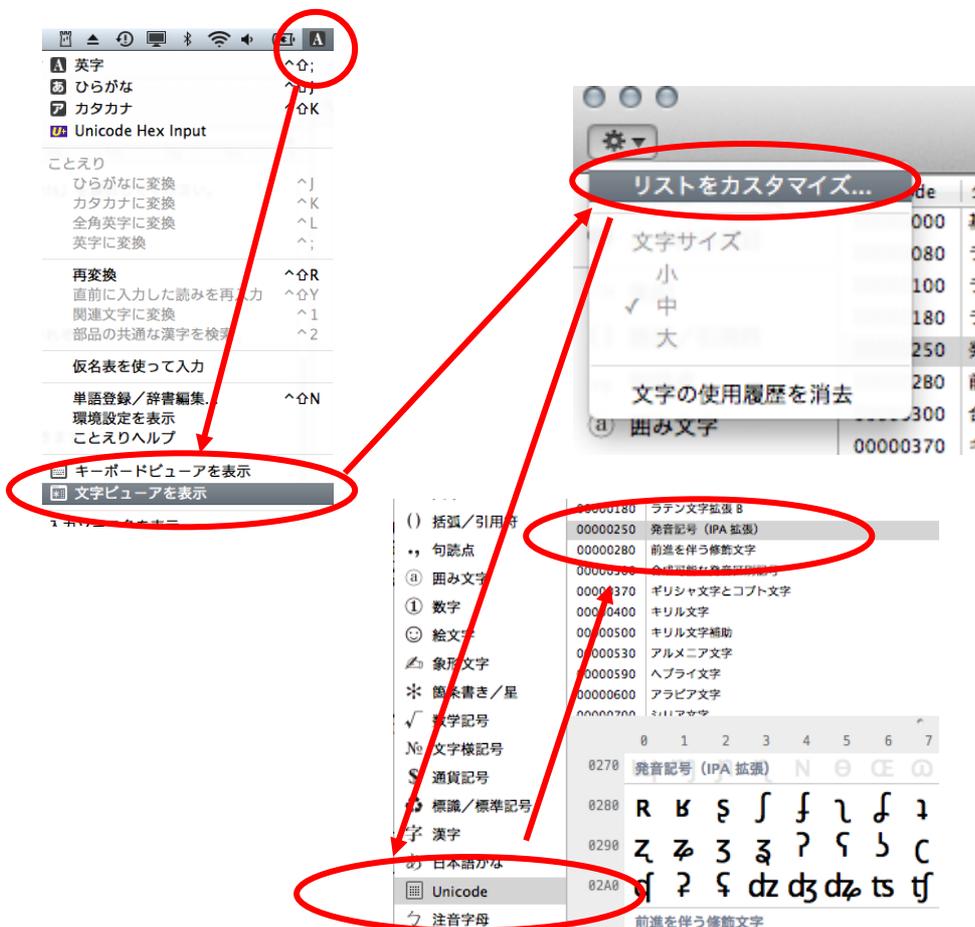
展開されたファイルの中で、「CharisSIL.ttf」、「CharisSIL-B.ttf」「CharisSIL-I.ttf」「CharisSIL-BI.ttf」の四つをそれぞれダブルクリックします。すると、"Font Book"アプリケーションが起動しますので、「フォントをインストール」ボタンを押してください。これで、インストールは終了です。

OS 標準のみでの入力

Windowsでは、「IMEパッド」でフォントに対応する文字の一覧が表示され、「フォント」を”Charis SIL”を選び、該当する文字をダブルクリックすることで入力できます。



Mac OS Xでは、Windowsと似た方法で「文字ビューア」があります。「文字ビューア」を起動します。

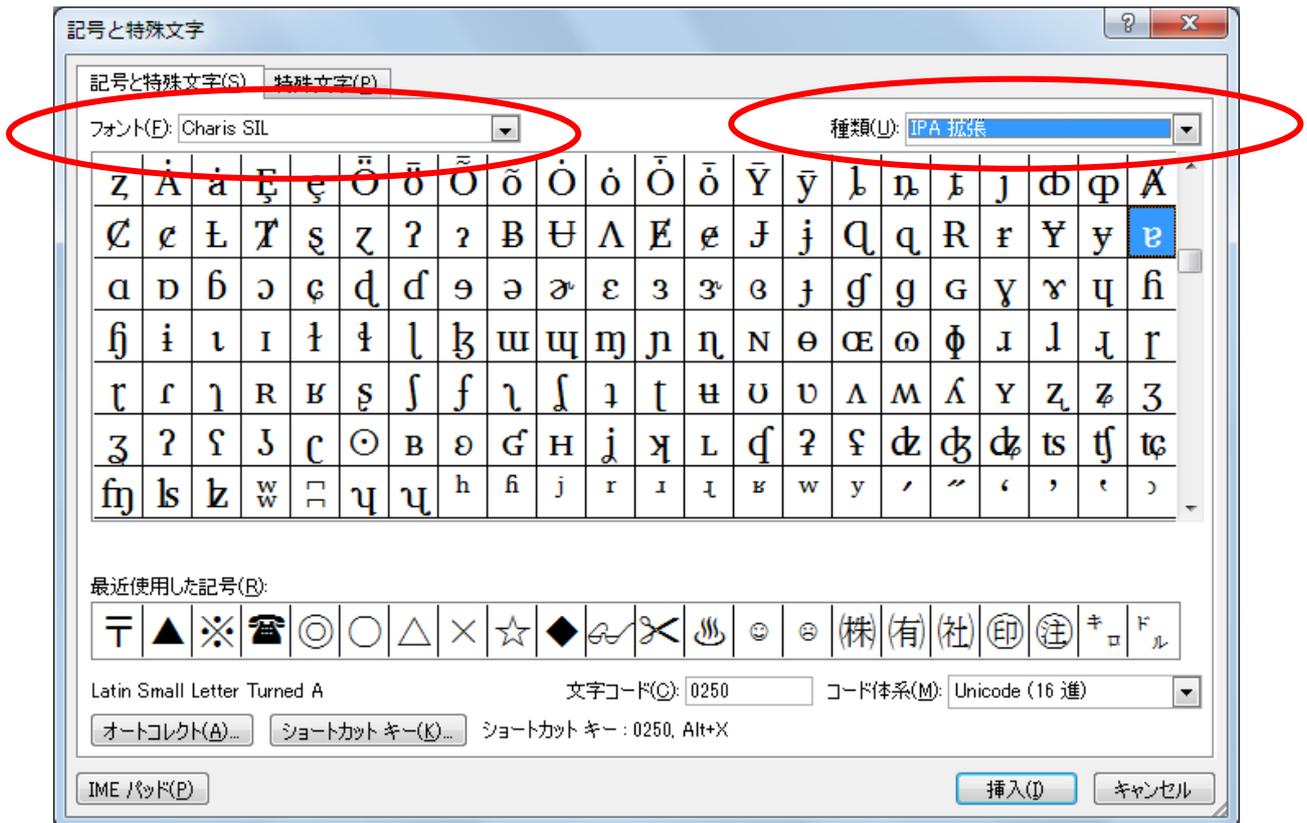


一方で、Mac OS Xには入力ソースとして「Unicode Hex Input」というものがあります。これは、言語の入力モードを切り替えるのと同様な操作で「Unicode Hex Input」に切り替え、「Option」キーを押しながら入力したい文字のUnicode番号を16進数で入力するというものです。例えば、「Unicode Hex Input」に切り替えて、「Option」を押しながら「0」「2」「8」「e」と押すとyが逆さになったような文字がでます。これは、Unicode番号 U+028e に対応する文字「𐀀」を指定したことになるのです。

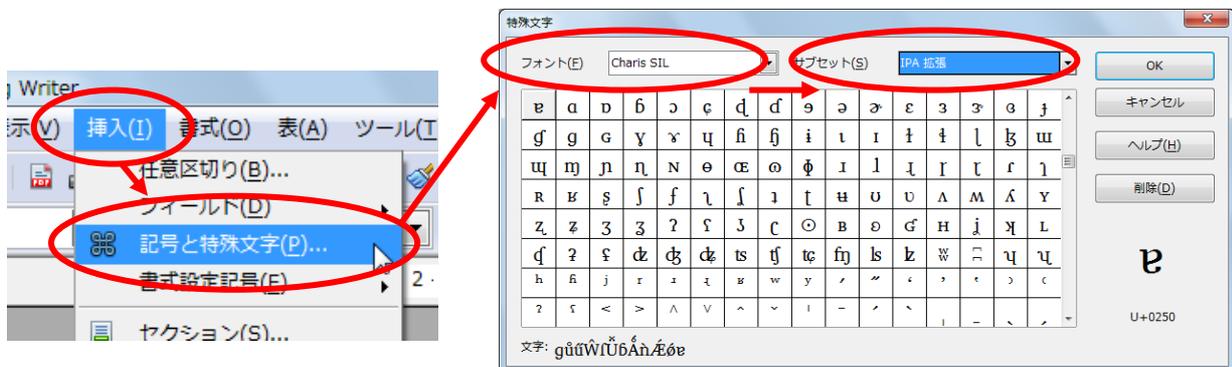
ちなみに、Unicode番号の U+ はUnicode番号であることを示すための決まり事です。また、16進数とは一つの桁が 0から9だけでなく10をa、11をb、そして15をfとして表現する数です。我々が普段使用しているのは10進数で、10になると一つ桁があがるように、16進数では16になると一つ桁があがります。どの文字がどのUnicode番号であるか覚えていれば十分です。

アプリケーションに依存した入力

Word2010では、「挿入」タブの「記号と特殊文字」から「その他の記号」を選択すると、「記号と特殊文字」ダイアログが開きます。ここで、「フォント」を”Charis SIL”を、「種類」を”IPA拡張”を選択します。それで表示される文字から対象の文字をダブルクリック、またはクリックして「挿入」ボタンを押します。



OpenOfficeでは、メニュー「挿入」の「記号と特殊文字」を選択し、「特殊文字」ダイアログで「フォント」を”Charis SIL”、「サブセット」を”IPA拡張”で該当する文字をダブルクリックしてください。



「Unicode Hex Input」の設定(Mac OS X 10.7 の場合)



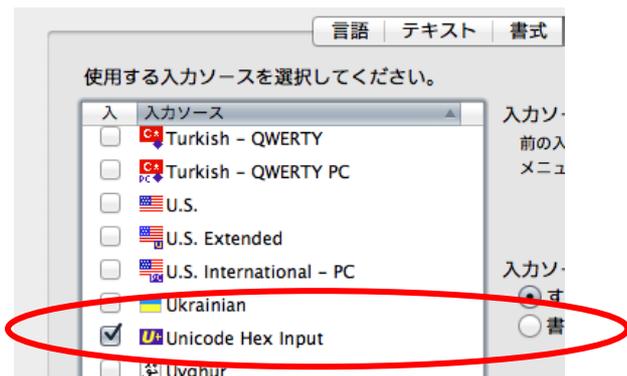
アップルメニューから、「システム環境設定」を選びます。



「パーソナル」の欄から「言語とテキスト」をクリックします。



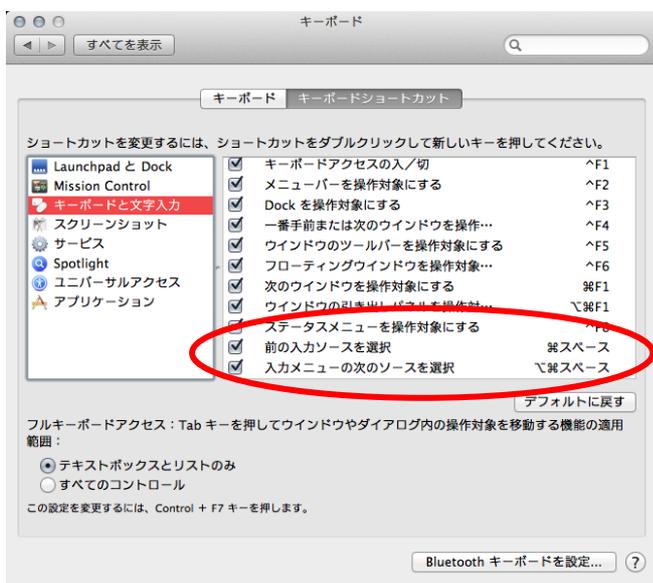
「入カソース」タブを押します。



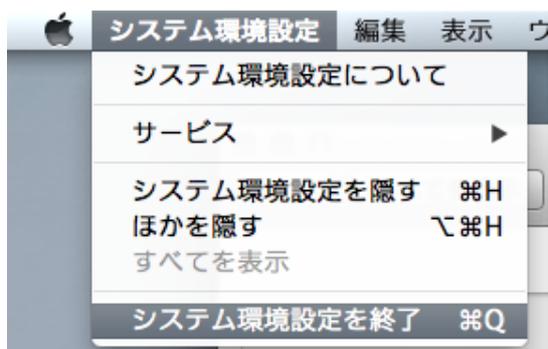
次に「入力ソース」の「Unicode Hex Input」にチェックを入れてください。



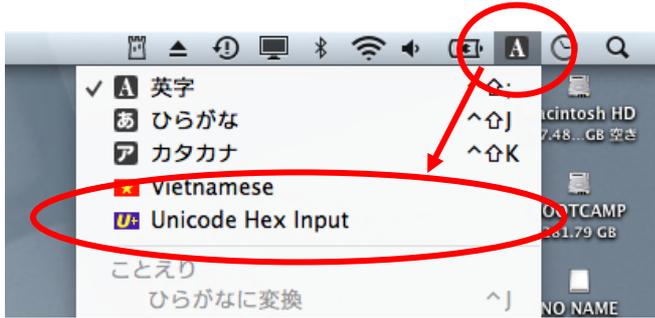
ちなみに、横の「キーボードショートカット」ボタンを押すと…。



入力ソースの切り替えショートカットが確認できます。



設定はこれで終わりです。「システム環境設定」を終了してください。



「入力ソース」に、「Unicode Hex Input」が追加されています。このまま選択するか、キーボードショートカット（コマンドキー＋スペースキー）で入力が可能になります。

既に述べた通り、「Unicode Hex Input」での入力は、「Option」キーを押しながらUnicode番号を入力してください。